

平成28年5月30日

高松市長 大西秀人様

高松市香南地区地域審議会
会長 赤松千壽



建設計画に係る平成29年度から平成30年度までの実施事業に関する
意見の取りまとめについて（回答）

新緑の候、貴職におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃は、本地域審議会の運営等につきまして、格別の御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、平成28年4月18日付け高地振第43号により依頼のありました、建設計画に係る平成29年度から平成30年度までの実施事業に関する意見の取りまとめについて、下記のとおり意見集約を図りましたので回答いたします。

記

1 提出書類

建設計画に係る平成29年度から平成30年度までの実施事業に関する意見について

建設計画に係る平成29年度から平成30年度までの実施事業に関する意見について

地区名：香南地区

| 番号 | 項目 | 意見の内容 |
|----|--------------------------|---|
| 1 | 県道三木綾川線バイパスルート（仮称）の整備 | <p>市道下川原北線の香東川橋梁について、橋梁上部の工事及び城渡橋までの整備も完了し、平成29年度には供用が開始されるものと思われます。開始された後、東からの車両は県道円座香南線に早く抜けるため、城渡橋までの各市道を通行すると予想されます。その結果、各所で交通渋滞や事故の発生が想定されます。住民の生活にも支障を来し、最悪死亡事故を起こしては、この待望の公共事業に対して批判的意見を持つ者も出てこないとは限りません。県道までの各接続道を安全安心に通行できるように、この整備計画の重要点として対応するよう強く要望します。</p> <p>この整備事業は近々に県道円座香南線に接続しなければ、その効果は極めて少ないばかりか、前記しました通り、橋梁西側付近の狭隘な既存の通学路（市道）の交通量が急激に増え、交通事故に繋がる恐れがあります。現在でも、渋滞が起きている城渡橋付近では、更なる渋滞を生む事態となります。それを回避するためにも、橋梁供用開始時に併せて、東は空港通りと西は県道円座香南線とを接続してくれるよう要望します。</p> <p>このバイパスルートは、香南町民だけのものではなく、周辺の道路を使って通勤や通学している多くの方々のためのものであるということ認識していただき、県に対しても特段の働き掛けをしていただくことを切に要望します。</p> |
| 2 | 地域高規格道路（高松空港連絡道路）（仮称）の整備 | <p>上記と同様に、地域高規格道路の暫定路線ルート完成後においては、通行車両は大きく増加します。すべての交通動向を予想して、危険個所が無いように対応するよう要望します。</p> <p>香川県では、地域高規格道路（高松空港連絡道路）（仮称）の整備については、空港の拠点性の向上や地域の活性化を図る上で重要な路線であり、平成29年度内の工事完了を目指している計画で、まだ、高松西インターチェンジから延長されて、当該路線に接続され、さらにそこから空港入り口交差点までのルートが示されていないため、地域住民は立ち退きなどによる、将来への不安の広がりを感じられることから、早急に同路線のルート等を決定し工事に着手するよう、高松市から香川県に対して更なる働き掛けをされるよう要望します。</p> <p>また、この市道南原保育所線は文教地区であることから、県や県警と連絡を密にして、歩道、信号機等の交通安全施設を充実されることを要望します。</p> |
| 3 | 市道等の整備 | <p>市道等の整備については、建設計画登載路線のうち地元関係者の同意が得られた路線について、順次、整備を進めていただいておりますが、未整備路線についても、早急に進捗されるよう要望します。</p> |
| 4 | 香南小学校大規模改修工事の着工 | <p>香南小学校に於いては、最も古い南・中棟は建築後50年が経過しようとしており、特に南棟は雨漏りに加え、廊下に運動場との遮蔽壁がないため、吹きさらしになって濡れながら児童が移動しなければならず、手洗い場も屋根がないため、荒天時には洗面器に水を汲んで歯磨きや手洗いをしなければならない状況で、不自由を忍んでいます。また、不審者も容易に侵入できる構造であり、渡り廊下の大きい傷みや段差があることから、児童の安全が脅かされる事態となっています。</p> <p>このことから、渡り廊下を含めて、南棟、中棟の校舎改築を強く望みます。</p> <p>本年4月14日に発生した平成28年（2016年）熊本地震の際、避難所に指定されていた小・中学校の建物が損傷を受けて使用できなくなったことも踏まえると、建築年数にこだわらず、老朽化、安全性、危険性、機能性等を検証の上で、更に改修が急がれると考えます。</p> <p>工事の着工については、平成29年度を目途に改修計画を策定すると説明を受けていますが、大規模災害の際、避難所として使用される可能性の有る建物であることから、有利な合併特例債等を活用して建設計画延長期間内に、一刻も早い完了をされることを望みます。</p> |
| 5 | 防災行政無線を利用した一般広報の継続運用 | <p>平成27年度は、防災ラジオを香南町地区に1,400台配布しましたが、香南町全体での普及率は50%台半ばという状況であり、自治会未加入者や何らかの理由で申込ができなかった市民から、防災ラジオ購入の問い合わせも多々あることから、これからも順次募集を継続するよう要望します。</p> <p>現在、昼間（12時20分）の放送だけで、働いている人には聞けない状況であり、防災ラジオの動作確認も兼ねて、早期に、朝晩の放送をしてもらえるよう要望します。</p> <p>また、防災ラジオの放送について、聞こえない等の苦情も多いことから、早期の電波障害等の改善を要望します。</p> |

建設計画に係る平成29年度から平成30年度までの実施事業に関する意見について

地区名：香南地区

| 番号 | 項目 | 意見の内容 |
|----|---------------------------|---|
| 6 | 南部スポーツ施設における特色あるスポーツ施設の整備 | <p>当初の計画から管理棟及び夜間照明を削除した整備計画になりましたが、この変更により、「特色あるスポーツ施設」のイメージが想像できません。</p> <p>完成後の利用状況や地元、利用者の意見を聞いた上で、管理棟及び夜間照明の整備を検討すると言われていたようですが、利用者の利用目的とマッチングできるような施設、夜間照明を使って野球ができるよう、早期の実現を要望します。</p> <p>また、昼間に利用できる人は、学校や仕事に行っていない、時間に余裕のある人（シニア世代）になります。施設の有効活用のためにも、昼間に高齢者が利用し、健康促進に努められるよう、「高齢者向け健康遊具（器具）」、「介護予防遊具」の設置を要望します。</p> |
| 7 | 地域行政組織の再編 | <p>平成27年2月に「地域行政組織再編計画」が策定され、その中で当分の間とはいえ、現在の支所機能と同等の窓口サービスを継続する激減緩和措置が講ぜられることになりました。激減緩和措置の実施は大変ありがたいと思っておりますが、同時期に合併した香川・国分寺・牟礼の3支所は総合センターに移行し、職員も2人～4人増え21人になりますので、当該地区の市民は日々の生活の利便性が確実に向上し、将来に亘って大きな安心感を得られることになりました。</p> <p>一方で香南・庵治・塩江の3支所は、再編計画では地区センターになり、激減緩和措置が終了すれば、計画策定時の常駐職員14人が10人に削減され、基本的に4人になることになっています。そして、もし、本当に4人程度になってしまうと、一人当たりの職員が処理できる仕事の量は自ずと限られてきますので、当然、地区センターで取り扱う行政サービスは大きく減少し、3町の市民は必然的に遠い総合センターへそれも度々行かざるを得なくなります。</p> <p>市町村合併は、究極の行政改革かもしれませんが、町の規模は違うとはいえ、同じような時期に同じような条件で合併した6町間で、果たしてここまで差がついて本当に良いのでしょうか。建設計画に書かれている合併町間の地域バランスへの配慮は無いのでしょうか。</p> <p>加えて3町は高齢者の割合も非常に高く、既に超高齢化社会に突入していますが、高齢者が日々の生活の中で遠い総合センターへ行かざるを得なくなり、地理的・地形的に恵まれていないという特殊事情もありますので、高齢者に対し極めて大きな負担を強いることはもちろん、現在、大きな社会問題になっている高齢者が、交通事故に遭う危険性も非常に高くなるものと心配されます。</p> <p>さらに再編計画によりますと、高松市内には沢山の町がありますが、今より確実に条件が悪くなるのは、合併町である香南・庵治・塩江のたった3町だけです。</p> <p>こういったこと等を総合的に考えた場合、合併3町に対し激減緩和措置に加え、さらに一歩踏み込んだ配慮・対策が有ってもいいのではないのでしょうか。</p> <p>今から12年前の選挙で、香南町民は高松市との合併を選択しました。町民は高松市と合併すれば、将来に亘って安全安心で暮らしやすいまちなると信じたからに外ありません。</p> <p>合併前、香南町は列記とした一つの地方自治体で役場庁舎内には常時約50人もの職員がいて、町民の生命や財産等を守っていました。それが合併後わずか10年も経たない内に、香南支所の常駐職員が将来的に4人になってしまうような再編計画が策定されようとは、香南町民の一体誰が予想しえたのでしょうか。</p> <p>いずれにしても、今、香南町民は将来に向かって大きな大きな不安を抱えています。どうか、「当分の間」という曖昧な表現を激減緩和措置の恒常化、あるいは客観的にみて地域の誰もが激減緩和措置の終了もやむを得ないと思えるような状態に至るまで、「当分の間」を確実に継続するなど、適切な対策を講じられるよう強く要望します。</p> |

建設計画に係る平成29年度から平成30年度までの実施事業に関する意見について

地区名：香南地区

| 番号 | 項目 | 意見の内容 |
|----|--|--|
| 8 | シャトルバスの運行路線の延長 | <p>現行のシャトルバスは、旧JA池西支所から香川支所を經由し琴電「仏生山駅」まで運行されており、高齢者や通勤通学者等の人たちの貴重な交通手段となっていますが、残念ながら利用状況は芳しくなく、乗車率向上に向け、更なる利用促進策が必要と考えます。</p> <p>その促進策として、この路線を町民の日々の生活の利便性向上と、公共交通の一層の利用促進のため、琴電「岡本駅」まで延伸し、岡本駅から香南町・香川町を經由して琴電「仏生山駅」までをシャトルバスで結ぶことはできないでしょうか。</p> <p>岡本駅まで路線が延伸されれば、香南町民にとっては岡本駅は直ぐ近くの駅というイメージがあり、車で走っても10分足らずですので、今はシャトルバスを利用せずに、別な方法で高松市中心部へ通勤・通学している人たちも、移動手段を見直し、新たにシャトルバスを利用してくれる可能性は十分あると思われます。</p> <p>また、琴平方面に行く人も利用してくれることになり、綾川町の大型商業施設での買い物や総合病院等での受診も可能になります。さらに岡本駅には国分寺町や綾川町のコミュニティバスも乗り入れています。</p> <p>しかしながら、高松市としても要望の実現には収支のバランスや現区間の運行サービスの低下に繋がらないか等、いろいろ課題もあるようです。そこで提案ですが、岡本駅まで延伸した場合にどの程度の利用が見込めるか、そういった利用予測ができれば、高松市としてもこの要望について検討しやすくなると思いますので、まず香南町民にアンケート調査を実施していただけないでしょうか。</p> <p>いずれにしても、この要望が実現すれば高松市南部地域のまちづくりの基盤となる公共交通機関のネットワークが構築できることになり、香南町民にとっては移動手段の選択肢が増え、将来に向けて大きな安心感を得ることができそうです。シャトルバスの運行路線を、琴電「岡本駅」まで延伸していただくよう強く要望します。</p> |
| 9 | 地域行政組織再編計画に伴う地域包括支援センター・保健センター出先機関の統合・窓口一元化のメリット・デメリット | <p>保健事業については、今後増々の需要が予想される中で、これまで香南保健センターで行っていた事業がすべてなくなることに對しての説明、また、今後、香南町の保健事業はどうなるのかということの説明を求めます。</p> <p>施設については、現在、保健委員会で認知症予防教室や研修会など継続的に活動の場として使用していることもあり、現状を考慮に入れて、その後の建物の活用について、地元の声を反映してくれることを切に要望します。</p> |